



▲一生懸命にもちをつくようす

▶おばあちゃんと
もちをまるめる
子どもたち



うまかもん大集合

有明うまかもん収穫祭

11月25日、「有明うまかもん収穫祭」が有明町民センター一帯で開かれ、町内外から約700人が来場しました。同祭実行委員会が自然の恵みに感謝し、地域と産業の活性化を目的に実施しているもので、今年で8回目。催しでは、地元でとれた農林水産物の品評会をはじめ、各地区振興会や加工グループなどによるバザー“うまかもん市”を実施。また、親子で体験する“バームクーヘンづくり”なども行われ、会場は大いににぎわっていました。



▲バームクーヘンづくりを体験する親子



▲地元住民が釘付けになる取組のようす

ぺったん、ぺったん もちつき体験

老人会とのもちつき体験

12月13日、御所浦北保育所で老人会とのもちつき体験があり、園児15人と地域のお年寄り9人が参加しました。同所が、昔からの伝統の体験と老人会との交流を目的に20年以上前から行っているもの。ふだん見ることの少ない臼と杵を使った伝統的なもちつきに園児たちは興味津々。園児たちは、おじいちゃんたちに手伝ってもらいながら一生懸命にもちをつき、おばあちゃんたちといっしょにまるめました。最後はみんなでついたおもちをおいしそうにほおばっていました。

感謝、感動、心をつなぐ 最高の思い出

新合小フェスタ

今年度で137年の歴史に幕を閉じる新合小学校（河浦町）で11月18日、最後の「新合小フェスタ」が開催されました。ステージでは、全児童35人が群読や演劇などを披露。4・5・6年生の児童による演劇“新合小学校物語”では、同小学校の歩みを忠実に再現した物語に、来場者の中には涙ぐむ姿も見られました。

このほか、教職員のソーラン踊りや保護者によるくまモン体操なども行われ、会場は歓声と拍手に包まれていました。



▲新合小学校物語を披露する児童たち

一生懸命に走り タスキをつなぐ

九州中学校駅伝競走大会

12月1日、「九州中学校駅伝競走大会」が本渡運動公園陸上競技場を発着とする女子5区間12km、男子6区間20kmのコースで行われました。九州中学校体育連盟が毎年開催しているもので、市では平成18年以来6年ぶりの開催。大会には、九州各県大会の男女上位2チーム各16校と、市からは開催地枠として男女ともに本渡が出場。この日は晴天に恵まれ、選手たちは一生懸命に走りタスキをつないでいました。

優勝は、女子が松橋（熊本）、男子は三股（宮崎）。本渡はともに11位でした。



▲同競技場をスタートする男子選手たち

イノシシの生態を知り被害を防ごう

イノシシ被害対策講習会

11月21日、天草地域振興局で「イノシシ被害対策講習会」が開催され、農・林業者や猟友会会員など110人が参加しました。

独立行政法人農業・食品産業技術研究所機構近畿中国四国農業センター専門員の井上雅央氏が、イノシシの生態や被害状況などについて説明。被害対策として「正しい知識を身につけ集落ぐるみで取り組むことが重要」などと話されました。参加者は熱心にメモを取り、対策などについて質問していました。

市では、今後も講習会などを開催し、イノシシの被害防止に努めていきます。



▲講習を行う井上氏

寒さも吹き飛ばす力強い取組

願成就奉納相撲大会

12月2日、栖本町大河内地区の十五社宮で願成就（がんじょうじゆ）奉納相撲大会が行われました。豊作祈願が叶ったことに感謝する同地区の伝統行事で、毎年実施しているもの。当日は、朝から雨が降る寒い中、地元の若者らが土俵作りをし、相撲の取組を行いました。若者らは、激しいぶつかり合いを見せ、地元住民らの声援や拍手を受けていました。